

第41回 北九州脳卒中地域連携パス協議会

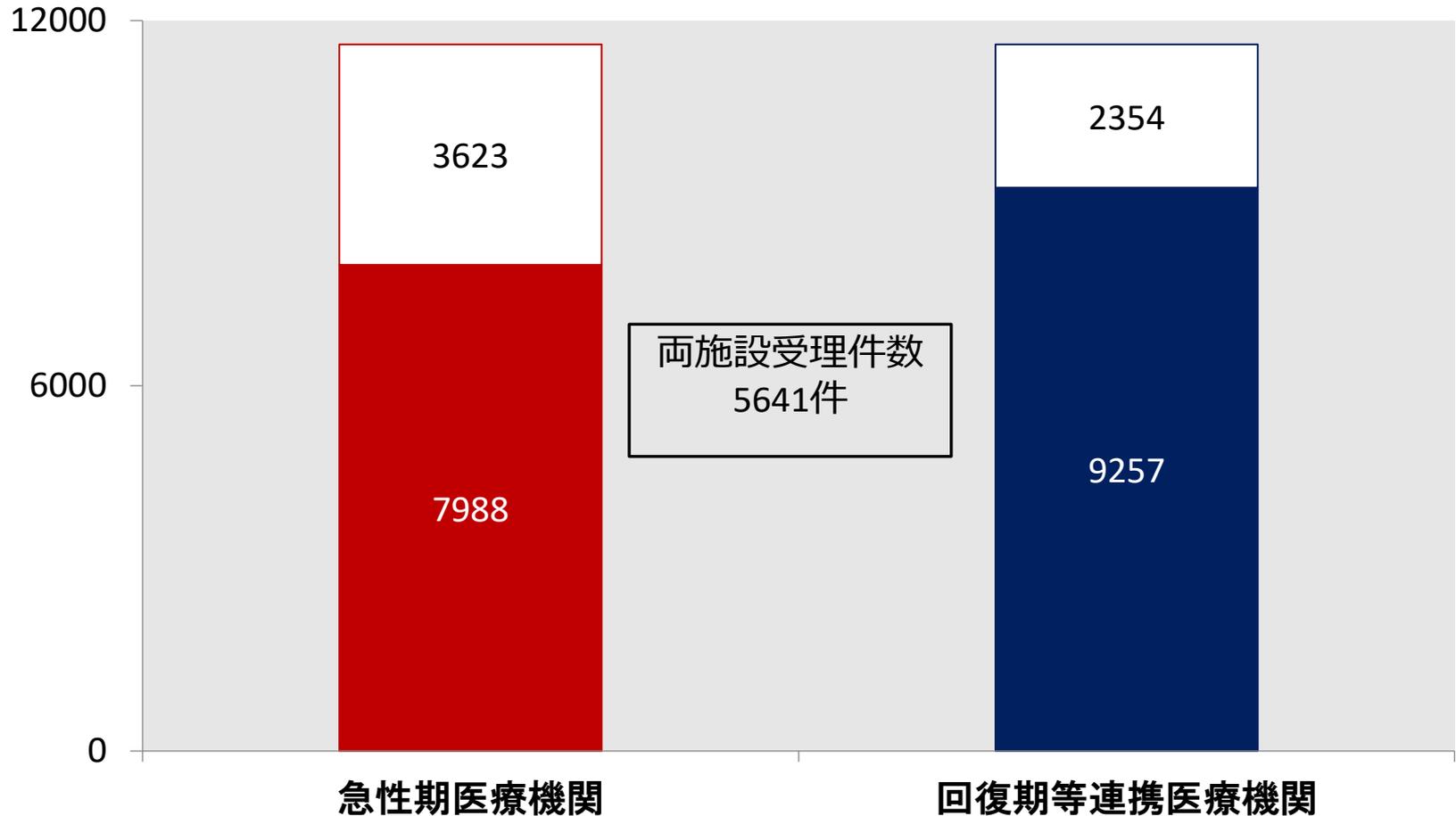
北九州脳卒中地域連携パス協議会事務局 幹事
越智 光宏
(産業医科大学リハビリテーション医学講座 講師)

集計結果

全受理データ

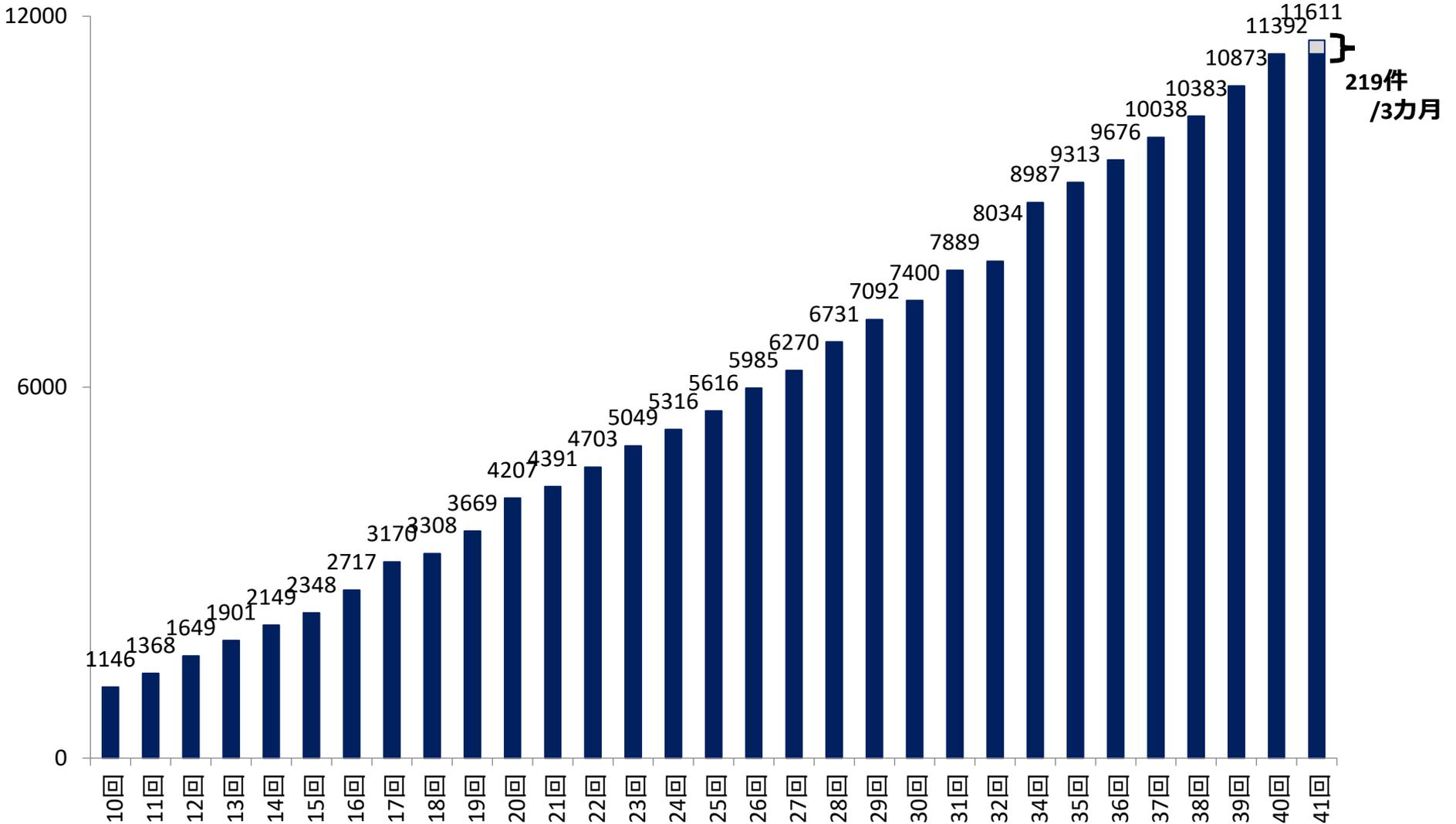
(2009年4月1日～2022年7月22日)

利用件数



連携医療機関（外来）： 80件

パス利用数の累積

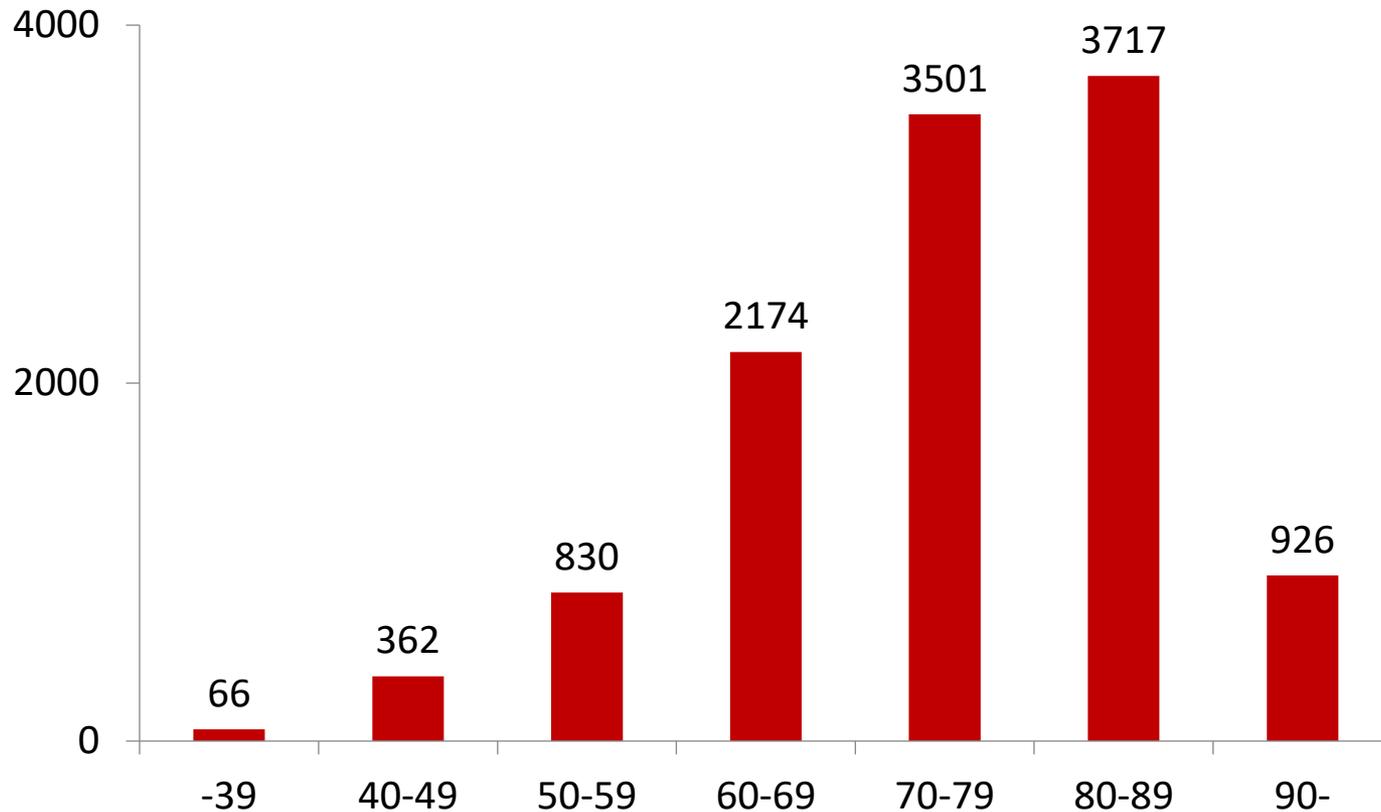


年代別利用状況

発症平均年齢 74.8±12.0歳

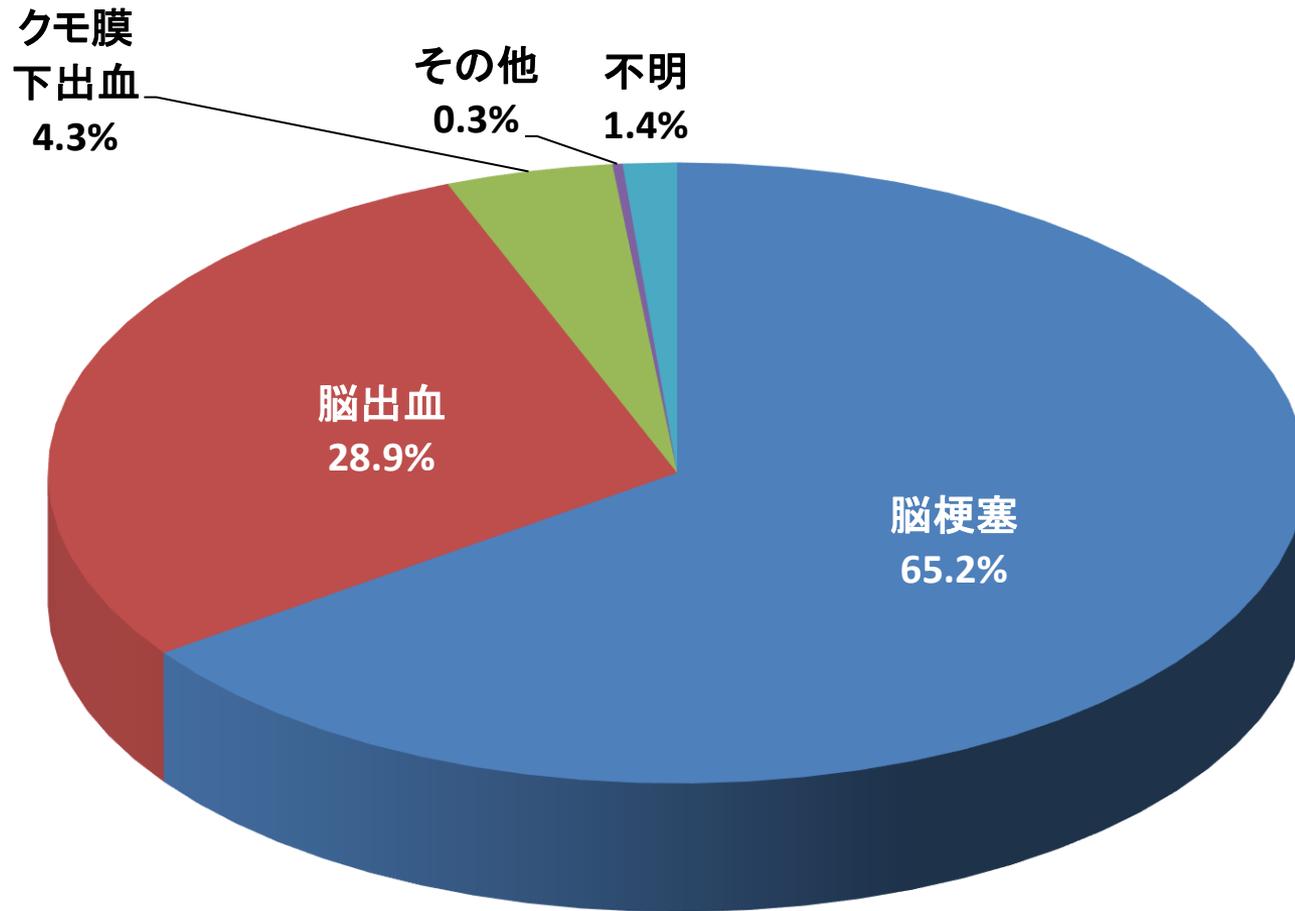
N=11576

(件)

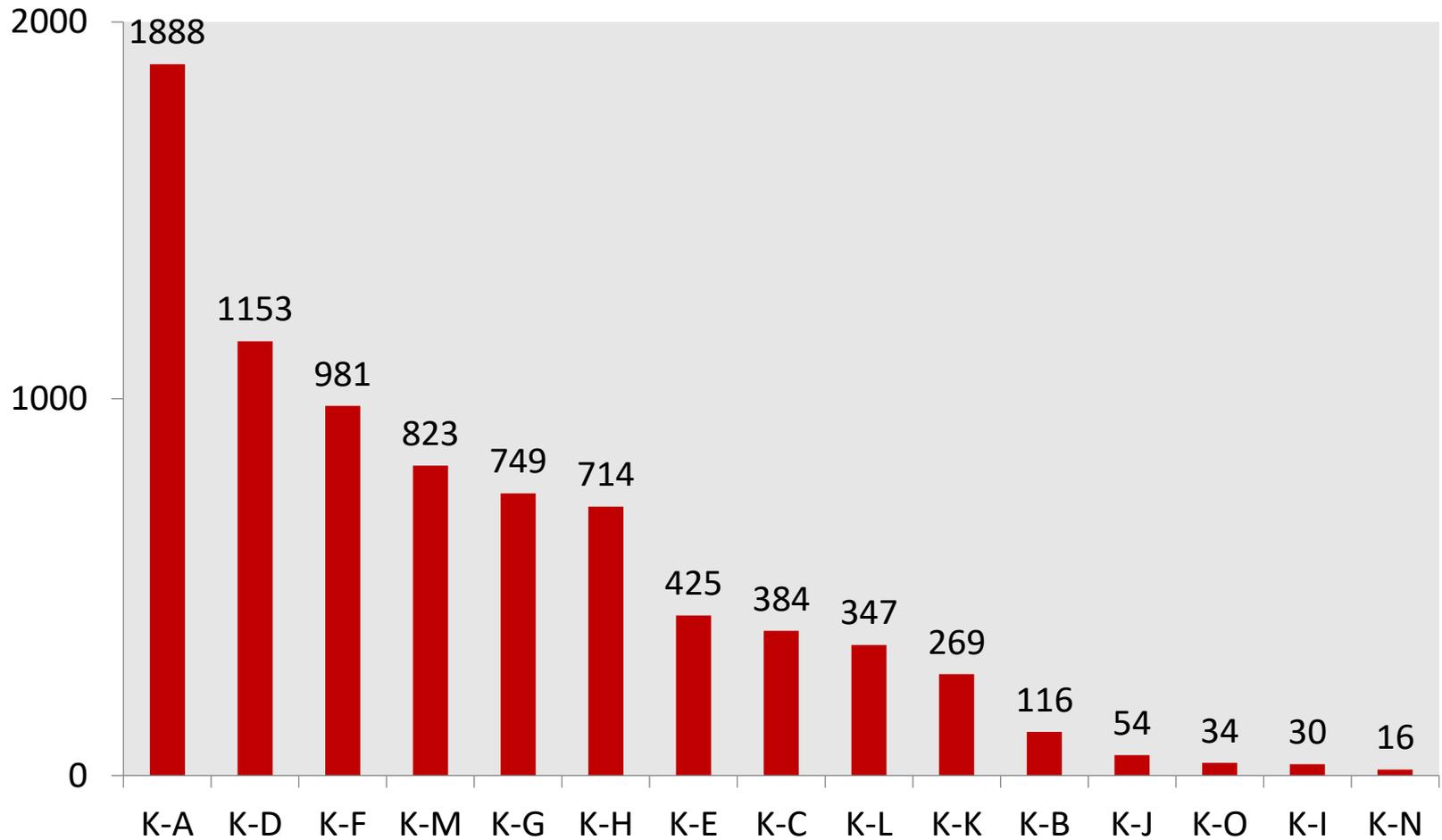


病型別発症割合

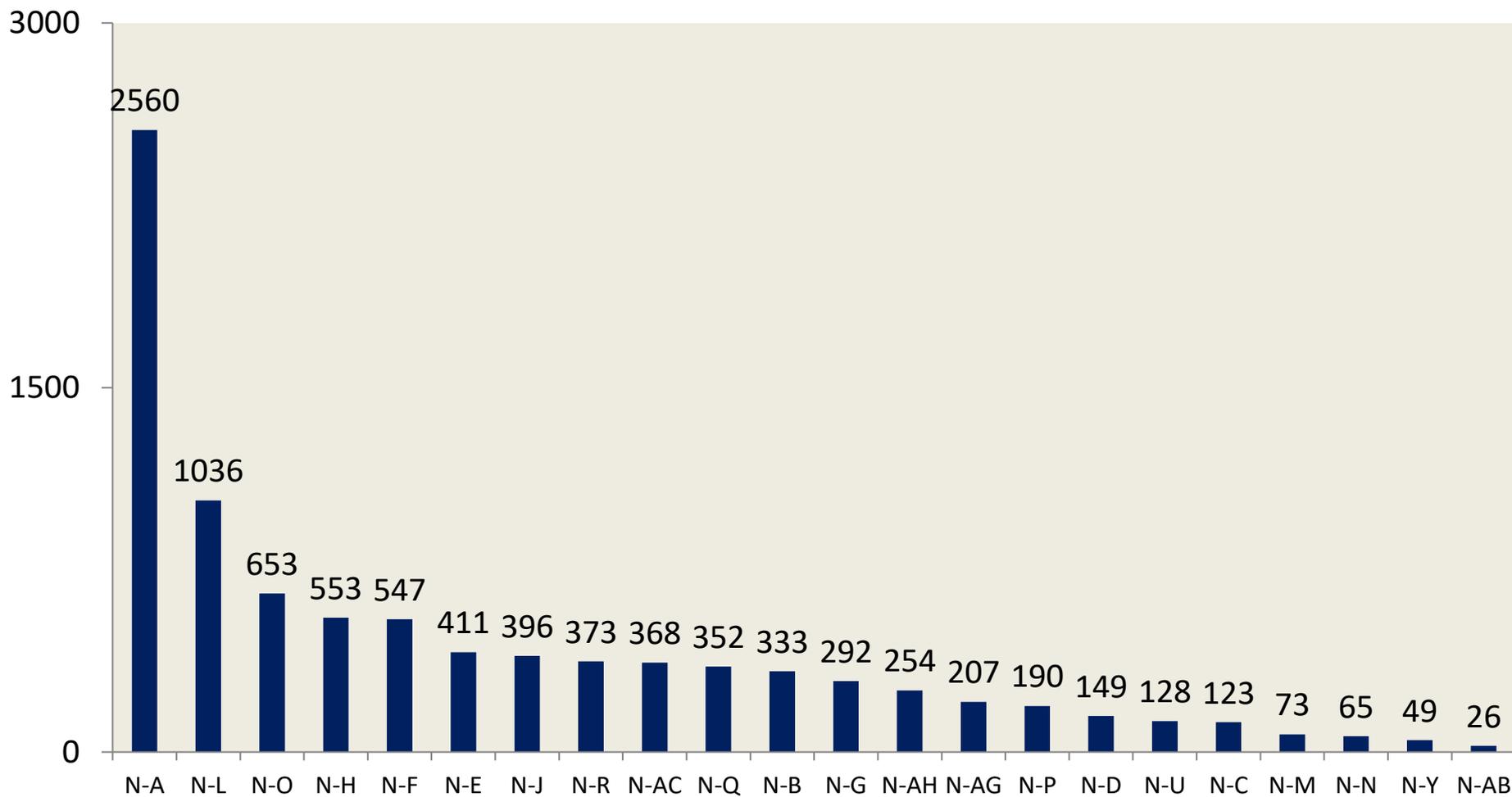
N=11611



急性期医療機関別利用件数



回復期等連携医療機関別 利用件数



* 20件以上受理した施設

脳卒中地域連携パス北九州標準モデルにおける重症度別の脳卒中患者の特徴

Differences by severity of stroke patients in the clinical pathway in Kitakyushu

下鶴 幸宏¹, 松嶋 康之², 越智 光宏², 伊藤 英明², 蜂須賀 明子², 佐伯 寛²

1) 産業医科大学 大学院医学研究科 医学専攻

2) 産業医科大学 医学部 リハビリテーション医学講座

方法

【対象】

2009年4月1日から2021年12月31日の期間に、急性期・回復期・生活期に連携パスを利用した10,873名

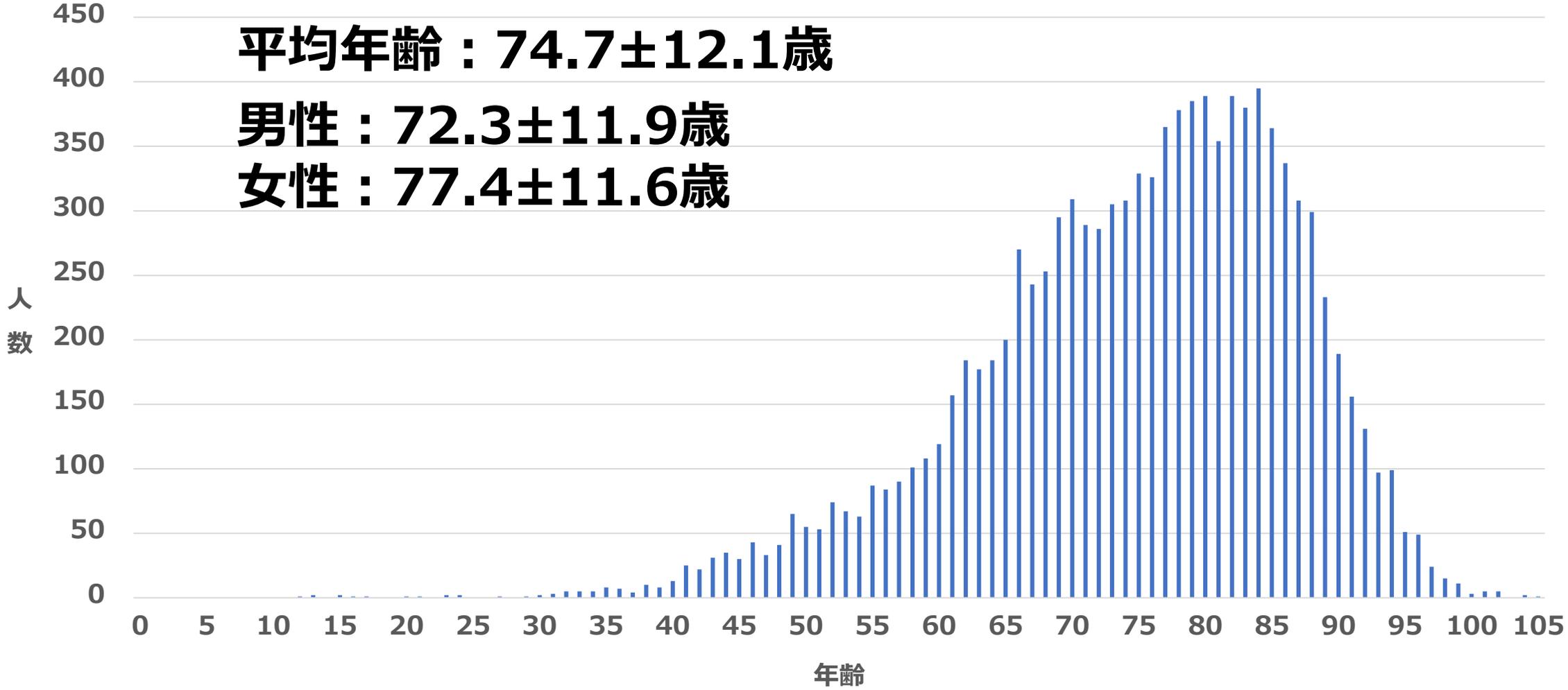
(患者登録数: 急性期2046名、回復期3378名、両方5441名)

【方法】

重症度は、急性期病院退院時のNIHSSの得点で、5点未満を軽症、6-13点を中等症、14点以上を重症と分類した (Schlegel et al. (2003)) 。

年齢・脳卒中の病型・在院日数、日常生活活動などの連携パスデータを後方視的に調査し、比較した。

発症時の年齢



急性期及び回復期病院の在院日数（重症度別）

急性期病院の平均在院日数				回復期病院の在院日数			
(日)				(日)			
平均値		標準偏差		平均値		標準偏差	
軽症 (n=3672)	25.8	±	15.7	軽症 (n=2693)	75.6	±	52.1
中等症 (n=1817)	29.7	±	29.5	中等症 (n=1338)	111.6	±	72.7
重症 (n=947)	36.6	±	17.8	重症 (n=631)	125.5	±	116.7

回復期病院退院時FIM合計点とFIM利得（重症度別）

回復期病院退院時FIM				FIM利得			
		(日)				(日)	
回復期病院退院時FIM		(日)		FIM利得		(日)	
平均値		標準偏差		平均値		標準偏差	
軽症 (n=2514)	103.3	±	25.3	軽症 (n=2083)	19.3	±	17.7
中等症 (n=1246)	77.8	±	33.5	中等症 (n=1037)	23.7	±	19.9
重症 (n=572)	41.1	±	28.0	重症 (n=505)	14.2	±	20.6

病型割合（重症度別）

